

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会について

JESCOでは、平成20年1月15日（火）に、専門の知識と経験を有する学識経験者で構成されるポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学理工学部教授）を開催し、東京PCB廃棄物処理施設における操業状況について報告し、審議検討いただきました。

検討の概要

前回（平成19年7月31日）東京事業部会後の操業状況と水熱分解設備再生熱交換器及び混合管の腐食対策、作業環境、洗浄方法の改善対策、屋外危険物倉庫の建設について報告を行いました。委員からは各種質疑のほか次のようなご指摘がありました。

○操業状況、水熱分解設備再生熱交換器及び混合管の腐食対策、作業安全衛生の状況について

- ・雨水柵のダイオキシン類濃度が比較的高いので、雨水自体のダイオキシン類濃度を測定し原因を調査すること。
- ・周辺環境モニタリングと排出源モニタリングを環境測定とまとめずに使い分けをしっかりとすること。

○洗浄方法の改善対策、屋外危険物倉庫の建設について

- ・洗浄設備の改善については、必要に応じ別の処理システムへの変更等も含め検討してはどうか。
- ・屋外倉庫は、屋内保管と同じ安全対策の考え方で設置すること。
- ・二次汚染物や処理困難物の処理についてしっかり方針を決めること。